

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	チェリッシュナーサリースクール上野
施設所在地	台東区上野桜木2-1-3
法人名	株式会社チャイルドステージ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然に触れ、野菜稲の育つ様子を見たり、川での遊びを体験する。

<テーマの設定理由>

農園での野菜、稲などの収穫体験や体験や毎週の野菜配送での農園野菜との関りの中で食育を学ぶ。

野菜の種類、生長過程、収穫の仕方や調理方法を知り、自分たちが美味しく食べられることを再度確認したり楽しむ。

苦い、甘い等の味覚もあわせて、いろいろな野菜への興味が広がり、食物への大切さ、有難さへの気持ちを育てたいとテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

5月：1回 7月：1回 9月：1回
11月：1回 12月：1回 ※毎週水曜日、農園長との交流

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

パソコンや絵本ホールにある図鑑を利用し調べたり、子どもたち自身で発表を行った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

5月：田植え	7月：川遊び、収穫体験	9月：稲刈り
11月：芋ほり	12月：お餅つき	

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(5月) 水の冷たさや、土の感触を感じながら稲の植え方を学んだ。慣れてくると夢中になって植えていた。水に浮かぶ虫を見つけ友だちと共有したりしながら、田植えを完成させると達成感も味わえた。。

(6月～9月まで) 自分たちが植えた稲の様子を家族で見に行ったりした子もいた。農園便りの写真で生長を見守ったり、田んぼ周辺の季節の変化にも気づき、友だちや保育者に話してくれていた。

(7月) 田んぼに大きくなっていた稲の生長に驚いていた。初めて川に入る子も多く、おそろおそろ川に足を入れてみたり、手で流れを確認したりしていた。川の生き物をまるで宝物を見つけたように喜んで大きな声で知らせたり、自分たちで作った牛乳パックの船を浮かべ流れ方を観察したり、浮輪での川下りは不安定な流れに身を任せるスリルが楽しくて大好評だった。

(9月) 稲刈りをした。田植えの時にはいなかった、とんぼがたくさん飛んでいる様子を見てびっくりする子もいた。稲刈りは、父が熱心に刈っているのを見て影響を受けたり、自然を通して親子の貴重な体験にもなっていた。

(11月) 農園にて、白菜、大根、里芋などの冬野菜を収穫した。里芋の親芋の大きさに手で触り確認しながら子芋を外したり、季節によって収穫できる野菜が違う事に気づく子もいた。また、稲の脱穀体験を通して白米になるまでの過程を知り感動していた。

(12月) もち米の稲を育てたので、蒸したもち米の臭いをかいだり、蒸された状態のもち米がいつも食べている米に似ているなどにも気づきながら餅つきをした。杵でつくるとだんだんと餅に変化していく不思議さを感じながら楽しんでいた。自分たちが田植えから関わってきた最終の餅つきは思い出深い経験となった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

「自然」をテーマにした活動を通して、田植え、稲刈り、川遊び、野菜収穫体験ができ、自然環境の虫、川、野菜の生長を身近で観察でき興味も広がり、たくさんの発見もできた。

その中では、友だちとの協調性や食に対する個々の意欲も育った。

自分の手をかけたことで食物に対する感謝と愛情も育ち、強い雨の日に稲を心配する心や収穫野菜を食べる事の喜び、調理をしてくれる人、農園について教えてくれる農園長に対する感謝に気持ちなどが育まれた貴重な体験となった。

職員も子ども達と一緒に体験する中で、子どもの気づきや言葉での表現をみとれる保育にも繋がったようだ。